

事務事業名	29756 芸術文化振興事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	文化担当		
組織コード	R5	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	02	01	18	01	01	記入日	令和 5年 6月 8日
	R4	13	10	00		R4	01	02	01	18	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち					再掲施策				● 対象		
施策	06	芸術文化活動の推進									○ 対象外		
事業期間	平成20年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	社会教育法					関連計画 施政方針	戸田市生涯学習推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市民等												
事業目的	芸術文化活動の振興、推進を図り、広く市民に普及させる。												
事業内容	文化祭、音楽祭、美術展覧会の開催。文化活動団体の支援。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ( 実行委員会 )												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	芸術文化振興 事業	芸術文化振興 事業	芸術文化振興 事業	芸術文化振興 事業	芸術文化振興 事業	
	事業費	3,659	4,541	5,010	4,541	4,541	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	64	0	0	0
	一般財源	3,659	4,477	5,010	4,541	4,541	
	人件費	13,848	13,054	13,054	13,054	13,054	
	投入 人員	常勤職員	2人	2人	2人	2人	2人
		非常勤職員	1人	1人	1人	1人	1人
事業費+人件費		17,507	17,595	18,064	17,595	17,595	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動① 補助件数	文化祭、音楽祭、美術展覧会の開催への補助	件	3	3	3	3	3
	事務事業成果① 実施団体数	文化祭、音楽祭のプログラム・事業実施団体数	件	25	25	19	19	19
	事務事業成果② 一日平均来場者数	戸田市美術展覧会への一日平均の来場者数	人	373	375	377	379	381
					317			
目標達成状況の分析	<p>B：いずれかの目標を達成した。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 活動については目標を達成した。成果の達成には至らなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響は前年度から比べ大幅に減となり、従前に近い状況で事業活動を実施できた。 なお、実施団体予定数について本来の数との相違があったため、令和5年度以降分を修正した。</p>							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	<p>B：施策の目標達成に貢献している。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 市民の芸術活動に触れる機会の創出ができています。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	<p>B：経費は適正な範囲である。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 業務量に比して、適当な人員数である。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	<p>B：事業手法は適正な内容である。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 活動、成果ともに目標値を達成している部分があり、適正である。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	<p>B：受益・負担は適正な範囲である。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 公益性を鑑みて、適正である。</p>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和4年度に実施した取組内容・効果	戸田市美術展覧会について、新型コロナウイルス感染対策を実施しながら開催することができ、新しい取組として、出展率・鑑賞率の低い若年層にターゲットを広げるために出展作品に係る動画を作成し、市公式YouTubeチャンネルにて公開することができた。
令和5年度に実施する取組内容	ポストコロナとして従前の活動内容に戻し、すべての計画事業を実施していく。 また、市長公約である文化を推進する条例（仮称）についても、新規制定に向けて調査・研究を進めていく。

6. 令和6年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<p>&lt;方向性の判断理由・取組方針&gt; 新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類に移行となり、社会全体でも文化活動の状況が活発となっている。本市においても従前の活動内容に戻し、すべての計画事業を実施していきたいと考えている。 また、文化を推進する条例についても、制定に向けて令和6年度に取組を実施していきたい。</p>

事務事業名	21182 文化会館管理運営費													
担当組織	市民生活部				文化スポーツ課				担当	文化担当				
組織コード	R5	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	02	01	18	02	01	記入日	令和 5年 6月 8日
	R4	13	10	00		R4	01	02	01	18	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策	10			● 対象	
施策	06	芸術文化活動の推進										○ 対象外	
事業期間	平成17年度～令和12年度												
根拠法令通達等	・戸田市文化会館条例 ・戸田市文化会館条例施行規則						関連計画 施政方針						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：1-4、3-1												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	施設の利用者等												
事業目的	市民文化の向上と福祉の増進を図るため、文化会館の効果的かつ効率的な管理運営を進めていく。												
事業内容	文化会館の設置目的である市民の文化の向上と福祉の増進を図るための同施設の管理運営												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託      ( <input checked="" type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												
行財政改革の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	文化会館管理 運営費	文化会館管理 運営費	文化会館管理 運営費	文化会館管理 運営費	文化会館管理 運営費	
	事業費	245,968	292,612	245,894	292,612	292,612	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	233	233	233	233
		一般財源	245,968	292,379	245,661	292,379	292,379
	人件費	13,848	13,054	13,054	13,054	13,054	
	投入人員	常勤職員	2人	2人	2人	2人	2人
		非常勤職員	1人	1人	1人	1人	1人
事業費+人件費		259,816	305,666	258,948	305,666	305,666	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	文化事業数	指定管理業務で実施する文化事業数	回	7	14	14	14
	事務事業成果①	文化事業の鑑賞者数	指定管理業務における文化事業の年間鑑賞者数	人	6	13	—	—
	事務事業成果②	参加者数	指定管理業務における文化事業の年間参加者数	人	20,165	20,165	20,165	20,165
	強化KPI①	実施回数	指定管理者へのモニタリング実施回数	回	13,492	19,935	—	—
					47	96	98	100
					33	166	—	—
				5	5	5	5	
				5	5	—	—	
目標達成状況の分析	B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> 活動については、目標達成には至らなかったが、昨年度と比べ、新型コロナウイルス感染症の影響は大幅に減少し、実施できた事業が多かった。参加者数及びモニタリング実施回数については目標を達成できた。							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 文化会館における自主事業については、参加した市民から好評を得ているものが多く、再演が決定したものもあり、芸術活動の推進に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 業務量に比して、適正な人員数である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 活動、成果ともに目標値を一部達成している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 安価な価格で質の高い芸術に触れることができている。公益性は高いと考える。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和4年度に実施した取組内容・効果	文化振興啓発事業の自主事業として、新たに文化会館大ホールでスタインウェイピアノ体験を実施し、計53人の利用があり、好評であった。
令和5年度に実施する取組内容	市民が企画する小規模な公演に対し協力金を支給する「フレッシュコンサート」を新たに実施するほか、市民が誇れる魅力あるイベントや催事等の新規事業を検討・実施していく。

## 6. 令和6年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 現状で計画している事業を全て実施できるよう調整していく。また、市民が誇れる魅力あるイベントや催事等の新規事業を検討・実施していく。

事務事業名	7247 文化財保護事業													
担当組織	教育委員会					生涯学習課					担当	郷土博物館担当		
組織コード	R5	62	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	10	04	04	01	01	記入日	令和 5年 6月 8日
	R4	62	10	00		R4	01	10	04	04	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち					再掲施策			● 対象			
施策	06	芸術文化活動の推進								○ 対象外			
事業期間	平成17年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	文化財保護法・戸田市文化財保護条例・戸田市文化財保護条例施行規則					関連計画 施政方針			戸田市生涯学習推進計画				
事業区分	○ 法定受託事務      ● 自治事務のうち義務的なもの      ○ 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	□ リスクシナリオ番号：												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	全市民、学校、各種団体												
事業目的	戸田市文化財保護条例の定めるところにより、文化財の保護活用を図り、市民の郷土に対する愛護精神を深め、文化の向上に資するように努める。文化財の保護・継承活動及び活用。												
事業内容	文化財の調査、保護活用の充実。文化財学習指導者及び郷土文化の後継者等の育成。郷土学習活動充実。埋蔵文化財発掘調査の実施。埋蔵文化財の整理および報告書作成業務。												
実施主体	■ 市による単独直営      □ 委託（□3セク・財団      □ 企業      □ 市民・NPO）      □ 協働・協力（      ）												
行財政改革 の取り組み	重点戦略2 テーマ① 取組名：デジタル化による市内文化財周知の取組 内容：中央図書館指定管理者との連携事業として、デジタルアーカイブシステムによる「戸田市史ある記マップ（文化財案内地図）」のデジタル化を行う。 重点戦略2 テーマ① 取組名：DXの導入による博学連携（博物館利用）の推進 内容：講座のオンデマンド配信を実施する。												

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額（千円）	令和5年度 予算額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	文化財保護事業	文化財保護事業	文化財保護事業	文化財保護事業	文化財保護事業	
	事業費	6,539	13,086	13,667	13,086	13,086	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	6	6	6	0
	一般財源	6,539	13,080	13,661	13,080	13,086	
	人件費	6,716.28	6,265.92	6,265.92	6,265.92	6,265.92	
	投入 人員	常勤職員	0.97人	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人
		非常勤職員	1.38人	1.43人	1.43人	1.43人	1.43人
事業費+人件費		13,255	19,352	19,933	19,352	19,352	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	文化財に関する講座の開催回数	回	5	3	3	4	5
	事務事業成果①	文化財に関する講座の受講者数	人	70	60	60	70	80
				32	36	—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	<p>C：全ての目標が達成できなかった。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 文化財に関する講座については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、講座の事業規模を縮小しての実施とせざるを得なかったこともあり、開催回数及び受講者数とも目標を達成することができなかった。オンデマンド配信を実施したのは1講座（対面講座18人、オンデマンド受講9人）</p>							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	
	B	B	B	<p>B：施策の目標達成に貢献している。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 広報特集記事での市内文化財の周知や、それに合わせる形での文化財講座の開催により、市民等が市の歴史や文化に触れる機会を提供していることから、施策の目標達成に貢献している。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	
	B	B	B	<p>B：経費は適正な範囲である。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 市内における埋蔵文化財の試掘確認調査、本発掘調査等に係る費用は適正な範囲である。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	
	B	B	B	<p>B：事業手法は適正な内容である。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 文化財保護法等の法令に基づき、市の事業として適正に実施している。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	
	B	B	B	<p>B：受益・負担は適正な範囲である。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 埋蔵文化財については、国・県の方針に従い、営利を伴う開発行為を起因とした発掘調査の場合は、原因者負担の原則に基づいて、発掘費用は開発事業者負担としており、適正な範囲である。</p>

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和4年度に実施した取組内容・効果	<p>取組名：デジタル化による市内文化財周知の取組 内容：中央図書館指定管理者との連携事業として、デジタルアーカイブシステムによる「戸田市史ある記マップ（文化財案内地図）」のデジタル化を実施し、市民等への文化財の公開・活用を推進することができた。</p> <p>取組名：DXの導入による博学連携（博物館利用）の推進 内容：講座のオンデマンド配信により、時間や場所を選ばずに学ぶ環境を提供することができた。</p>
令和5年度に実施する取組内容	<p>重点戦略2 テーマ① 取組名：DXの導入による博学連携（博物館利用）の推進 内容：講座のオンデマンド配信を実施する。</p>

## 6. 令和6年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<p>● 1現状で継続    ○ 2拡大して継続    ○ 3縮小して継続    ○ 4他事業と統合    ○ 5休止</p> <p>○ 6その他見直し    ○ 令和6年度で終了    ○ 令和5年度で終了    ○ 令和4年度で終了</p>
	<p>&lt;方向性の判断理由・取組方針&gt; これまで継続して実施してきた文化財保護事業については、関係法令に基づき引き続き適正に実施していく。また、埋蔵文化財については、関係法令を遵守しながら埋蔵文化財の記録・保存に努めていくとともに、発掘調査報告書を順次刊行することで資料の公開・活用を図る。 今後も市の事業として、文化財の保護と公開・活用を効果的に行っていく必要がある。</p>